

CONTENTS P1 学長のメッセージ・学科長のメッセージ・大学機関別認証評価 P2~5 大学卒業制作・卒業論文・大学院修了制作 P6 新入生オリエンテーション・コンテスト・国際交流・学生展示企画 P7 教員の研究活動・ご退職の先生・新任の先生・卒業生、輝いています！ P8 自治会・INFORMATION

学長のメッセージ

ファッションの世界を牽引する若き専門職業人を育成します

杉野服飾大学は、ファッション造形やデザインだけでなく、ファッションビジネス、メディア表現、スタイリング、さらには服飾文化まで幅広く学べるファッション分野における男女共学の総合大学です。

2024年度は昨年度よりも多くの新入生を迎えることができました。また、この3月の就職率は97%を超え、多くの卒業生が夢や希望を叶える進路に進み、社会人としての第一歩を踏み出しています。

服飾学部服飾学科は入学時にモード系とビジネス系のどちらかを選択し、初年次では共通で造形とビジネスの基礎科目を履修し、2年次から専門コースに分かれて履修します。また、服飾表現学科は、ファッションの価値を人々に伝える様々な表現世界で活躍する人材を養成します。服飾表現に関する4分野から主専攻と副専攻を選択し、専門的な資質や能力を修得します。

今、ファッションの世界でもSDGsに沿った取組みが求められています。歴史や伝統を学び未来を創造する人材の育成を目指して、昨年度服飾文化学科を新設しました。

生成AIの出現により、今ある仕事の半分はなくなるといわれますが、どんなにAIが進歩しても、高品質の服作りには繊細で複雑な手仕事が必要であり、ファッションに関する様々な分野においても高度な知識・技術を持った人材が必要です。むしろこれからはAIも活用できる人材のニーズが高まると考えます。本学では画像生成AIなどのスキルを学べる環境を整備しています。

杉野服飾大学は、目標に向かってチャレンジし、創造力と個性を伸ばす皆さんを応援します。



学長 加藤 敬

学科長のメッセージ

服飾学科

新たな服飾学科の教育について



今年度新たに3学科長により密接に諸問題を検討し学長指導の元、学科長会議で意見を交わせることはとても有意義だと感じております。

服飾学科は令和4年から本学大学院で始まった3Dデジタルモデリングコースの基礎内容を3・4年のモードクリエーションコースとインダストリアルパターンコースの選択授業で今年度からスタートします。またファッションビジネス・イノベーションコースではAIを使用した授業も始まります。それ以外のコースでも色々な場面で新たな技術を取り入れています。杉野服飾大学が培ってきた伝統技術と新たな技術の融合は今後の社会で即戦力となり活躍の幅が広がります。AI活用の新しい世界へ向けて進歩し続ける大学を目指しております。

服飾学部長・服飾学科長 北折 貴子

服飾表現学科

専門の学びについて



2年次前期のオムニバス『服飾表現演習』で、すべての専攻の学びを経験し2年次後期から本格的な専攻の学びがスタートします。この段階で複数の専攻を履修することが可能です(2つの専攻を履修するケースが最も多く、逆に1つに絞る、あるいは3つの専攻を選択する例もあります)。これは多角的な視点を学べる絶好のチャンスでもあります。どのような仕事や現場も専門のコトだけ詳しくれば良いというわけではありません。自分の専門を“太く”するためには、少し異なる視点や考え方の違いに触れておくことが大いに役立つはずで、そしてそれは、自身の興味や好奇心のタネにもつながっていくのではないのでしょうか。

服飾表現学科長 千代崎 寛

服飾文化学科

歴史・伝統から未来を



「歴史・伝統を学び、今を知る、そして未来を創造する」
服飾文化学科は2023年4月にスタートした新しい学科です。歴史的な視点から世界と日本の服飾文化を理解し、持続可能な服飾文化とは何かを考え、新たなファッションを創造する力を育むことを目指しています。冒頭の一文は、その想いや期待を表しています。

西洋の歴史衣装のレプリカ製作、きもの文化や地域で育まれてきた染織の探究、少数民族の服飾の調査、SDGsに関わる課題解決等、服飾文化学科の1・2年生は一人ひとり多様な興味関心をもって学びをスタートしています。私たち教員が各々専門性を活かして学生に寄り添うとともに、教員と学生、学年という垣根を越えて共に学びを深めていきたいと考えています。

服飾文化学科長 梅谷 知世

大学機関別認証評価

すべての大学は学校教育法第109条第2項に基づき、「大学は、その教育研究水準の向上に資するため、文部科学大臣の定めるところにより、当該大学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表し、法令により7年以内ごとに文部科学大臣が認証する認証評価機関の実施する評価を受けることが義務付けられています。

杉野服飾大学は、平成21年度・平成28年度につづき公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受け、令和6年3月15日付で、「評価機構が定める大学評価基準に適合している」と認定されました。この評価結果に関する報告書は、本学ホームページ及び公益財団法人日本高等教育評価機構のホームページ上で公表されています。



2023年度

大 学

服 飾 学 部
服 飾 学 科
服 飾 表 現 学 科
卒 業 制 作 ・ 卒 業 論 文

大 学 院

造 形 研 究 科 造 形 専 攻
創 作 表 現 コ ー ス
3D デ ジ タ ル モ デ リ ン グ コ ー ス
修 了 制 作

大学 服飾学科

モードクリエイション コース



秦野 沙希

卒業制作テーマ

英国女王の衣装の研究 / Queen

卒業制作にあたり、4年間の集大成となるような作品作りを心掛けました。3年生の1月頃からテーマやデザインを考え始め約1年間かけて制作に取り組む中で、私自身がやりたい技法や使いたい素材を存分に使用し、制作に取り組んできました。袖やドレスの裾部分のリボンとブレードを使用した細かい装飾やマントの裾部分のレースを手縫いで縫い付ける地道な作業に一番拘りました。私は教職課程も履修していたため、3週間の教育実習がある中での制作でした。そのため、夏休みや授業時間外での作業も行いましたが、日々制作に取り組む1年間でした。最後の集大成だからこそ妥協せずに打ち込めたのだと思います。また、周りの仲間と先生方の助けがあって最後まで全力で満足のいく作品作りに挑むことができました。



大学 服飾学科

インダストリアル パターンコース



林田 実華

卒業制作テーマ

Honori

私の作品は、うすい生地をたっぷり使用し、「ほんのり」というイメージが表現出来るように布の端を巻きロックで仕上げました。研究課題は、巻ロックについて、同じパターンで各種の生地を扱う事で、巻ロックの端処理をした時のフリルがどのように変化するかを試みました。伸縮性がある生地に波状線を作る事で、ボリュームが出るデザインを考案しました。衣服のシミュレーションでは、3次元計測での計測値を利用し、ドレメ式原型を使用してオリジナルのパターンを作成しました。伸びる生地の伸縮率や重力を考えながらを繰り返すことでモデルにあったシルエットを作ることが出来ました。ほのかなやさしい香り、おだやかな色や光を一枚の映像に残るように可視化しました。



大学 服飾学科

テキスタイル デザインコース



和島 由季

卒業制作テーマ

海

海と人に共通点を感じ、表面だけではなく深層の部分まで見ることで、その人自身を理解し愛する事ができる人になりたいという気持ちから、「海」というテーマでラグとブランケットを制作しました。展示期間中はたくさんの方にお越し頂くことができました。自分では気づけなかった視点のアドバイスを聞くことができ、最後まで学びを得ることができました。

私はコースのみんなの作品がとても好きです。テーマや技法が様々あり、好きなものや大切にしているものが表現されていて素敵な作品ばかりです。会場からはそれぞれの「らしさ」が溢れ、コースのみんなとお世話になった先生方の顔、これまで一緒に授業を受けてきた3年間の思い出が目に見え、卒業制作展示になりました。



ファッションプロダクト デザインコース



菱川 信之助

卒業制作テーマ

自己表現

私自信、大学入学以前に海外留学をした経験があり6つの国を巡りました。
言語の壁がある中で他国の方々と交流をする入り口として、趣味とは人と人をつなぐツールだと実感しましたが、自己表現とは他者に対して表に出さないと伝わらないことであり、勇気が必要と感じました。そこで、言葉ではなく視覚を通して他者との関係を築くことができればより広く関係性を築けるのではと思い、自己表現できる作品を制作しました。今回の作品はフィギュアのパッケージをモチーフに形を考えましたが、4年間では形にする上で既存しているものをサンプリングし、テーマに結びつけるということに重点を置き制作してきたので、最後まで一貫して終えることができ良かったと思います。



ファッションビジネス・ マネジメントコース



大峽 楓

卒業論文テーマ

デンマークの循環型ファッションがもたらす社会持続性
-デンマークと日本から見るサステナブルファッションの展望-

本論文ではデンマークの進める循環型ファッションビジネス(=以降FB)に注目しながら未来のファッションを展望し、持続可能なFBの発展手法について提言しています。
論文制作に際しては、デンマークの土地や文化、固有のライフスタイル、デンマークの築く持続可能な社会の基盤について調査・研究し、特に今後のファッション業界に影響を齎すとして期待される「コペンハーゲンファッションウィーク」について特筆しています。また日本のSDGsに対する国民の参画意識の低さや、持続可能社会を築く基盤の弱さについても言及しています。そして日本のFB発展を促進させる存在として「CFCL」、「楽天ファッションウィーク」について取り上げながら、これら両国の比較から持続可能社会の展望について論じています。



ファッションビジネス・ 流通イノベーションコース



浅見 なつな

卒業論文テーマ

ファッションブランドにおける
適正規模の考察

好きなEC発ブランドであるépineが新店舗オープンの際、これ以上店舗を増やす予定はないと発表した時に、店舗を多く持つことが全てではないと感じたことが動機となり、ファッションブランドにおける適正規模をテーマに論文を執筆しました。EC発ブランドと大手アパレルブランド合わせて4つのブランドを挙げ、市場規模やそれぞれの強みを比較しました。インタビュー調査では卒業生のオンワードクローゼットの方に伺うことができ、オンワードのビジネスの理解を深めると共に、長く愛され続けてもらえるブランドとはどうすればいいのか、未来のあり方について沢山のお話を伺うことができました。論文執筆の初めは終わりが見えず大変でしたが、大好きなブランドに触れながら執筆することができ、とても楽しかったです。



衣装表現専攻



高橋 遥香

卒業制作テーマ

「違和感」ボリュームとバランス

衣装表現専攻では、グループ制作と各自の研究テーマに基づいた、3体の作品を制作しました。これまでに学んできた時代服から不自然に感じていた強弱のあるフォルムに対する違和感をテーマに、「ボリュームとバランス」に注目してデザインしました。
それぞれの場面も時代も違う個性的なキャラクターを表現するためには多くの試行錯誤が必要でしたが、色彩にディテール、インパクトのある大きさ、またそのモノの組み合わせ方を数多く試すことで調和を保った作品にすることが出来ました。イメージ撮影では、キャラクターの内面を意識したヘアメイクと舞台空間を想定して撮影しました。インパクトのあるヘアメイクとライティングにこだわることでキャラクターの世界観を表現しました。



スタイリング専攻



恵比須 七海

卒業制作テーマ

心化粧

今回の卒業制作を通して一つの作品を作り上げる大変さと出来上がったときの達成感の大きさを覚えることが出来ました。これまで作品制作してきましたが、なかでも卒業制作は時間や労力、費用が多く完成までの道のりがとても長かったです。ですが、ここまで0からモノを作り上げる経験ができたことが自身にとって大きな自信に繋がりました。このように感じた大きな要因が多くの人に見てもらえる機会があることでした。今回の卒業制作に携わってもらった友人や家族に卒業制作展で完成した作品を見てもらったところ嬉しいお言葉をいただき、これまで頑張ってきた甲斐があるなど心の底から思いました。これから社会人になりますが、常にものづくりの精神を忘れず多くの人に希望を与えられる表現者でありたいです。



VMD(ビジュアルマーチャンダイジング) 専攻



佐伯 梨亜

卒業制作テーマ

I wanna be a Princess

「Ad mignon」という多様性を尊重する架空のドレスショップのショーウィンドーを制作した。テーマを上記にした理由は、多様性について再考するためである。テーマの主語である「I」の人物像を定めてはいないが、多くの人が女性を想像したのではないだろうか。そんな無意識の区別に関わける作品を制作した。テイストはロイヤルで、作品は3畳ほどの広さがある。拘ったのは暖炉と腰壁である。暖炉はステンボード、腰壁はプラスチック段ボールで制作した。これらの素材は断面が見えると手作り感が出てしまうため、断面が見えないよう工夫し、高級感を損なわないようにした。完成後には、男性モデルに協力して頂き、作品内で撮影した。



ショープロデュース専攻



塩賀 莉沙

卒業制作テーマ

MODE×CASUAL
-モードをラフに-

私が、卒業制作のテーマを「MODE×CASUAL -モードをラフに-」と定めた理由は、一見、挑戦し難いモード系ファッションを挑戦しやすいコーディネートとして提案したいと思ったからです。[MODE]とは、「細かいディテールが施された、直線的でシンプルな服」のことを指します。この、絶妙なバランスでできている[MODE]を[CASUAL]に身に纏って頂きたいという思いから、衣装は柔らかい素材やストレッチが効いているものを中心に選びました。一方、ファッションショー会場はクライアントである「HARE」のブランドコンセプトに沿い、黒で統一したMODE且つ和な空間に。そして、ランウェイはシンプルに一方通行の構造にしました。



映像・メディア表現専攻



藏前 心春

卒業制作テーマ

姿
-すがた・ことば・いばしょ からみたドキュメンタリー-

自分は何がしたいのだろう。そんなことをずっと思っていた。大学4年生になり、進路を考え、卒業制作で何をしようか考えたとき、自分のことをよく分かっていなかった。“何か”を持っていただけが素晴らしいわけではないが、“何か”を持って、それに専念している人の姿はカッコいい。憧れがある。そんな人の「すがた・ことば・いばしょ」に向き合い話を聞くことで、何かヒントを得て、自分を考えるための手がかりにすることができるのではないかと考えた。身の周りにいる“何か”を創り、表現する6人に取材を行い、それぞれのドキュメンタリー映像、インタビュー冊子の制作を行った。人には、それぞれの一生がある。ちょっとここで人と向き合い、自分を考えてみるのもいいかもしれない。



造形専攻 創作表現コース



横山 幸希

修了制作テーマ

一総から

私は石川県の伝統工芸である加賀織を五代目として継ぐとともに、伝統工芸自体が衰退傾向からの脱却を試みて、この二年間人を魅了する加賀織の表現について研究しました。

そして、表参道にあるars galleryで修了展「一総から」を開催しました。展示内容は、加賀織で使用する絹糸が宝石以上の希少価値があるという提案をするために糸そのものを使ったジュエリーと、具象的な形ではなく抽象的な形で模索した刺繍絵画でした。今回は、素材の美しさや形態など、根本的な部分に着目し、色あせて見えてしまっている加賀織に新しい風を吹かせるためのいいスタートができたのではないかと感じています。今後も大学院で学んだことを活かし、加賀織がもっと発展できるよう制作活動に精進して参ります。



造形専攻 3Dデジタルモデリングコース



古荘 万葉

修了制作テーマ

—Fictional Reality—
実体を得る非実在アイドル

大学第2校舎にて修了制作展「dazzle」を開催しました。架空の男性アイドルグループの実物衣装と3DCG映像、CDをイメージした印刷物を展示しました。現実と架空の存在が入り混じったような世界観に入り込んでもらえたらという考えのもと、実物と3DCGの衣装を並べて見て頂いた際に実物と遜色のない素材表現を心がけCG制作を行いました。人物プロフィールから考え始め、「私たちの世界のどこかにいるかも知れないアイドル」として存在させるべく、統一感のある衣装デザインやCDリリースイベントをイメージした展示方法など試行錯誤を重ねました。私自身の「好き」を追求し、学生生活を集大成した修了制作になったと感じています。



新入生オリエンテーション

ファーストステップ in SUGINO



3、4年生企画

4月10日(水)に3学科の全学生を対象にファーストステップを開催致しました。不安や疑問に思っているこれからの大学生活を理解して頂くことが目的です。3、4



年生6名、2年生12名に参加協力を頂き、3、4年生からは、1年時のエピソード、その後の学生生活全般の話を聞くことが出来ました。学内オリエンティングや体育館レクリエーションでは、上級生も参加。目標達成のためにグループ内でコミュニケーションをとることが求められました。また、他のグループの完成作品(新聞紙でタワーをより高く作る)を見て感じることもあったと思います。各自が振り返りを行い、既にスタートしている大学生活が順調に進んでいることを願っています。



クイズに挑戦中



新聞紙タワー

初年次教育課程連絡委員会 委員長 水野 真由美

コンテスト

グランプリ受賞!

「マルソーグループ制服リニューアルプロジェクト」

創業111周年を迎える運送会社マルソー株式会社による、次世代のマルソーグループのユニフォームデザインを一般公募。全国約300案の中から本学の学生がグランプリを受賞しました。



この度はグランプリをいただけて大変光栄に思います。通気性やポケットの配置など、機能面を考えた上で、全体的にスタイリッシュな印象になるように意識したデザインになっています。



事前に公開のあった「新しい制服への要望」の社内アンケートを元にデザインの制作を進め、実際に着用する方へのどのような機能が求められているのかを考慮することで、しっかりと意味のあるデザインができたのではないかと思います。挑戦したことのないジャンルの課題でしたが、新分野にチャレンジすることの大切さを改めて実感することが出来ました。

服飾学科 モードクリエイションコース4年 加藤 優夏

国際交流

中国・浙江理工大学訪問



浙江理工大学服装学院の卒業ファッションショーに参加させていただきました。学生たちの作品はもちろん、大胆な光と音楽の演出にも感銘を受けました。また、麗水合成皮革デザインコンテストの開会式に参加させていただきました。水性合成皮革といったエコレザーやパイナップルの葉・コーヒー豆から出来たヴィーガンレザーなどサステナブルな取り組みに重きが置かれていることが印象的でした。他にもインテリアファブリック事業を行っている企業やオーダーメイドブランドの見学、シルクミュージアムの観覧等させていただき、製造工程や取り組み、歴史、文化に触れることが出来ました。とても貴重な経験をさせていただいたことを光栄に思います。 大学院造形研究科 造形専攻 3Dデジタルモデリングコース1年 菅谷 みちる



訪問期間 2024年5月6日(月)～5月10日(金)

5月 6日(月) 出国、麗水合成皮革デザインコンテスト開会式
5月 7日(火) 浙江理工大学服装学院の卒業ファッションショーへ参加
5月 8日(水) 浙江理工大学見学、企業見学
5月 9日(木) シルクミュージアム、杭州市内観光
5月10日(金) 帰国

学生展示企画

テキスタイルデザインコース作品展示 『10colors』

1

月の5日間、galleryUにて、テキスタイルデザインコース3年生による授業作品の展示を行いました。私たちのコースでは何を作っているのか、10人それぞれの特色を出し「伝える」をテーマに、タイトルを「10color」としました。期間中は交代で在廊し、お客様へ作品の説明を行いました。



また作品への投票をしていただき、細部までじっくりと見ていただけるように工夫しました。私は漆と金継ぎをイメージし、帆布をパーツに分け金糸でつなぎ、光沢を与えた作品を展示しました。学内外問わず様々な方に見ていただき、作品へのフィードバックを頂けたことがとても嬉しかったです。この展示を通してコースで制作する面白さを伝えることが出来たと思います。

服飾学科 テキスタイルデザインコース4年 都筑 遥

ジュエリーグループ「type_B」による企画展 『B place』

3

月22日から25日の期間、Gallery Uで展示会「B place」を行いました。「B place」とは多彩なジャンルのクリエイティブな仲間が集う場としてtype_Bが企画するイベントです。初開催となった今回はオーダー帽子ブランドのPremière mainさんにお声かけをし、type_B × Première mainによるジュエリーと帽子の展示会を行いました。今後も様々な活動をしていく予定ですのでぜひ、チェックしてください!

[Instagram] @t_y_p_e_b | @premiere_main_orderhat



大学院造形研究科 造形専攻 創作表現コース1年 中山 孔明

教員の研究活動

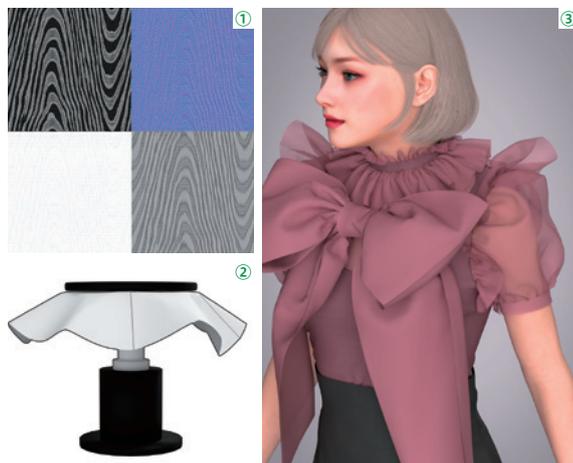
ファッション3DCGモデリングによるリアル表現

私たちは、ファッション3DCGモデリングの専門知識と素材の専門知識を合わせ、ファッション3DCGモデリングにおけるリアルな表現方法について共同研究を行っています。最近では、プロモーションやECサイト等で活発に使用されているようになってきているファッション3DCGモデリング。手で触ることができない空間の中で視覚的な情報(形状、色や柄)からリアルな表現を行うことが求められています。生地物性から出てくるドレープなどの生地特性の再現を3DCGで行い実物との比較や分析を行い検証することでリアルな表現に繋がる要因を導き出すことや、実物と3DCG間での再現性の差異の抽出と検証を行いよりリアルな表現の研究を行っています。

山川 智子 (服飾学科 ニット研究室)

羽賀 友美 (服飾学科 インダストリアルパターン研究室)

①テクスチャーマップ | ②3Dシミュレーションによるドレープの再現 | ③3Dによる衣服表現



ご退職の先生

住野 雅子 先生

1985年4月	杉野女子大学副手	2007年4月	杉野服飾大学准教授
1987年4月	杉野女子大学助手	2011年4月	杉野服飾大学教授
1994年4月	杉野女子大学講師(被服構成及び実習)	2015年4月	杉野服飾大学教授
2002年4月	杉野服飾大学助教授		インダストリアルパターンコース主任
	感性産業デザインコース主任		



住野雅子先生は昭和60年に杉野女子大学の副手としてキャリアをスタートされ、平成13年に感性産業デザインコースを立ち上げ、更に平成27年からは一新したインダストリアルパターンコースの主任・教授として、39年間にわたり杉野服飾大学にご尽力いただきました。先生の個性豊かなキャラクターは、学生たちに新たな視点を持たせ、驚きと刺激を与えていました。先生の斬新なアイデアに触れることで、私自身も多くのことを学ばせていただきました。また、先生の明るく元気なお姿は、学生たちにとって心強い支えであったと思います。長年同研究室に所属し、様々な仕事や研究をお任せいただき、成長の機会を与えていただきました。この場を借りて心から感謝申し上げます。

服飾学科 インダストリアルパターン研究室 羽賀 友美

新任の先生

菅野 ももこ 先生

服飾文化学科 服飾文化資料研究室 講師



専門は服飾史及び、実物資料研究です。これまで学芸員として博物館に勤務し、主に衣服をテーマとした展覧会の企画及び展示作業を進める中で、資料の素材や形態の特徴について勉強を続けてきました。様々な国や地域、時代を越えて服飾資料を探究していると、今現在私たちが着用している衣服の形態が数ある服飾の中のほんの一部に過ぎないということに気づかされます。世界には、そして長い歴史の中には、思いがけない形の衣服、そして製作方法が存在します。実物資料または、それをもとに残された二次資料を用いて、皆さんと一緒に学び、製作することで、この問題について理解を深め、新たな発見と創造に繋げていけたらと思います。

卒業生、輝いています!

現

代美術家として古着を用いながら日本の伝統工芸技法による稀有な制作活動をされている卒業生の谷敷 謙さんがTBSテレビ『FREUDE, forever ~先駆者が見た景色~』で2週にわたって紹介されました。(放送日:2024年4月9日、16日、番組HP: https://www.tbs.co.jp/FREUDE_tbs/)「古着という素材には記憶と思い出という要素があって、その香りや匂いがする。そして生命力がある。」家族への深い愛情と想いを心の原風景として活躍しつづける様子を番組アーカイブでぜひご覧ください。これを機に谷敷さんからメッセージをいただきました。

私は江戸時代にルーツを持つ木目込みという技法を、古着を使って、元々の持ち主に由来する身体性、時間、生の感覚、そして素材となる古着が元来そ



TV番組で紹介されました!



①- PAUSE - Usa Usa 162.0×162.0cm (2016) | ②制作中 | ③THE POWER OF CHOICE w260.6×h194×d7cm (2020) | ④“B/S K grind”[左] w122.5×h123×d5cm / “F/S K grind”[右] w124×h109×d5cm (2021) | ⑤FLOW & CONNECT展 2022年9月 OKAMOTO Art Gallery Tokyo | ⑥Tokyosai 2024年2月 MAGASINS GENERAUX パリ

なえていたブランドコンセプトを汲み取り、絵画という形態にリプレイスして作品を制作しています。

～新入生、後輩の皆様へ～

イメージでもいいので、ずっと突き進めるような夢中になれることを見つけて、それを形作るために先生方や友達、多くの人を頼って精進してください。



谷敷 謙 (現代美術家)

2009年 服飾学科アートファブリックデザインコース卒業 (現テキスタイルデザインコース)

【経歴】大学在学中にJFW JAPAN CREATION TEXTILE CONTEST 2008 新人賞受賞。株式会社ワールドでVMD (ビジュアルマーチャンダイジング)の仕事しながら作品づくりを続け、2019年に美術家として独立。出品展示をはじめ、国内外で幅広い活動を行なっている。



自治会長あいさつ



2024年度学生自治会長になりました学部3年の渡部日向子です。学生自治会ではメインイベントの大学祭の総運営やそのほかBBQやボーリング大会、芸術鑑賞など様々な活動を企画しています。去年の大学祭は、アーティストやお笑い芸人を呼び天竺ファッションショー、各クラス・コースやクラブの展示・ワークショップなど4年ぶりに対面で実施しました。今年度は定期的に定例会を行い、学年やコース関係なくみんな一緒に和気あいあいと色々な企画を計画中です。学生の皆さん、自治会企画に沢山参加して学校生活をより充実したものにしましょー!!

服飾学科 流通イノベーションコース3年 渡部 日向子

クラブ紹介

競技ダンス部

私たち杉野服飾大学競技ダンス部は、杉野のクラブで唯一のインカレサークルとして活動しています。現在、東京工業大学・



白百合女子大学・明治学院大学と共に活動をしており、大会にも出場しているため他大学の学生と仲良くなれる機会も多いです!部員のほとんどが初心者でとても始めやすいのも特徴で、新しいことを始めるのにもぴったりです!是非、私たちと一緒に踊ってみませんか?お待ちしております!!

競技ダンス部部长

服飾学科 テキスタイルデザインコース3年 新垣 陽香

INFORMATION

図書館

図書館は学びを助ける場でもあり、憩いの場でもあってほしいと常々思っています。本学には漫画の所蔵があり、ソファでのんびりと読んでいる学生もいることから、授業の合間の息抜きとなっているようです。また、漫画を読んで服飾を好きになり、杉野を知るきっかけになったという声も聴き、学生にとっては気軽に楽しめる図書館資料のようです。現在は服飾系の漫画をはじめ、世情を描いた長年親しまれている漫画、先生推薦の漫画などが1Fや2Fに配架されています。いずれは漫画コーナーを設置し、より利用しやすくしていく予定です。



博物館

博物館では「日本にミニがやってきた!」展を開催中です(7月31日まで)。ロンドンのストリートファッションから生まれ世界的に大流行したミニスカートは、1960年代後半の日本の女性達の間にもミニスカート旋風を巻き起こしました。本展では、ミニスカート流行のただ中にドレスメーカー女学院で制作された1960年代のミニ丈の装いと共に、日本におけるミニスカートの登場について紹介します。ぜひ皆様のご来館をお待ちしております。

※本学学生・教職員は無料。
学生は、受付にて学生証をご提示ください。



2023年度 杉野学園奨学生決定

2023年度の杉野学園奨学生に以下学生たちが選ばれました。伝達式を2月14日に実施し、理事長より決定通知書の授与をいたしました。今後もさらなる研鑽に努めて頂きたいと思えます。

所属	人数
杉野服飾大学	2名
ドレスメーカー学院	1名

2023年度 検定合格者数

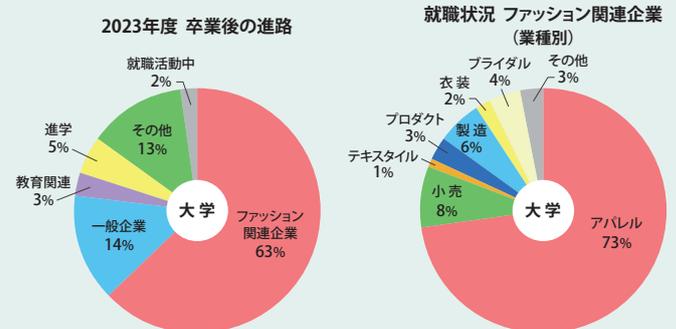
ファッション色彩能力検定	2級 大学 35名 3級 大学 48名
パターンメイキング技術検定	2級 大学 1名 3級 大学 10名
ファッションビジネス能力検定	2級 大学 4名 3級 大学 22名
ファッション販売能力検定	2級 大学 7名 3級 大学 21名

教務部

2024年度前期末の授業・諸行事について

6/3(月)~22(土)	4年教職課程教育実習
6/6(木)	月曜の授業実施
7/30(火)	前期平常授業終了
7/31(水)~8/3(土)	試験・補講・集中授業期間
8/8(木)	採点結果発表 追再試験手続き
8/10(土)~24(土)	一斉休業(全学)
9/2(月)~4(水)	追再試験
9/5(木)・6(金)・11(水)~13(金)	集中授業・2年映像制作(目黒)
9/10(火)	前期成績通知公開・成績通知書発送
9/11(水)~14(土)	見学・研修期間
9/27(金)~10/3(木)	選択科目履修調整期間
9/20(金)	後期平常授業開始

2023年度 就職状況



《主な就職先一覧(ファッション関連企業)》

アイア(株)、青山商事(株)、(株)アダストリア、(株)イッセイミヤケ、(株)オンワード樫山、(株)オンワードコーポレートデザイン、(株)キャン、(株)ケリングジャパン グッチ デイビジョン、(株)三陽商会、(株)ジュン、(株)T.S.I、(株)トゥモローランド、(株)バル、(株)パロックジャパンリミテッド、(株)ビームス、(株)ファイブフォックス、フェイラージャパン(株)、(株)ベイクルーズ、MARK STYLER(株)、(株)マッシュスタイルラボ、(株)ユナイテッドアローズ、(株)ヨウジヤマモト、(株)インファス・ドットコム、ワタベウエディング(株)、(株)ハツコエンドウウエディングス 他

《就活生に向けてのメッセージ》

この春、卒業生の多くが大学での学びを活かした希望の職種で就職することができました。大学3年生の夏頃より各企業が開催するインターンシップに参加することで、事前に希望する業界や職種を絞ることができ、効率的に就活を行うことができます。早めに対策し就職活動に臨んでください。

SUGINO 杉野服飾大学報 No.45

編集 鈴木 桜子、井口 多恵子、伊藤 高広、数井 靖子、菅野 ももこ、高橋 大夢、羽賀 友美、水越 綾

発行日 2024年6月30日

発行 杉野服飾大学教授会 印刷 カラー印刷株式会社